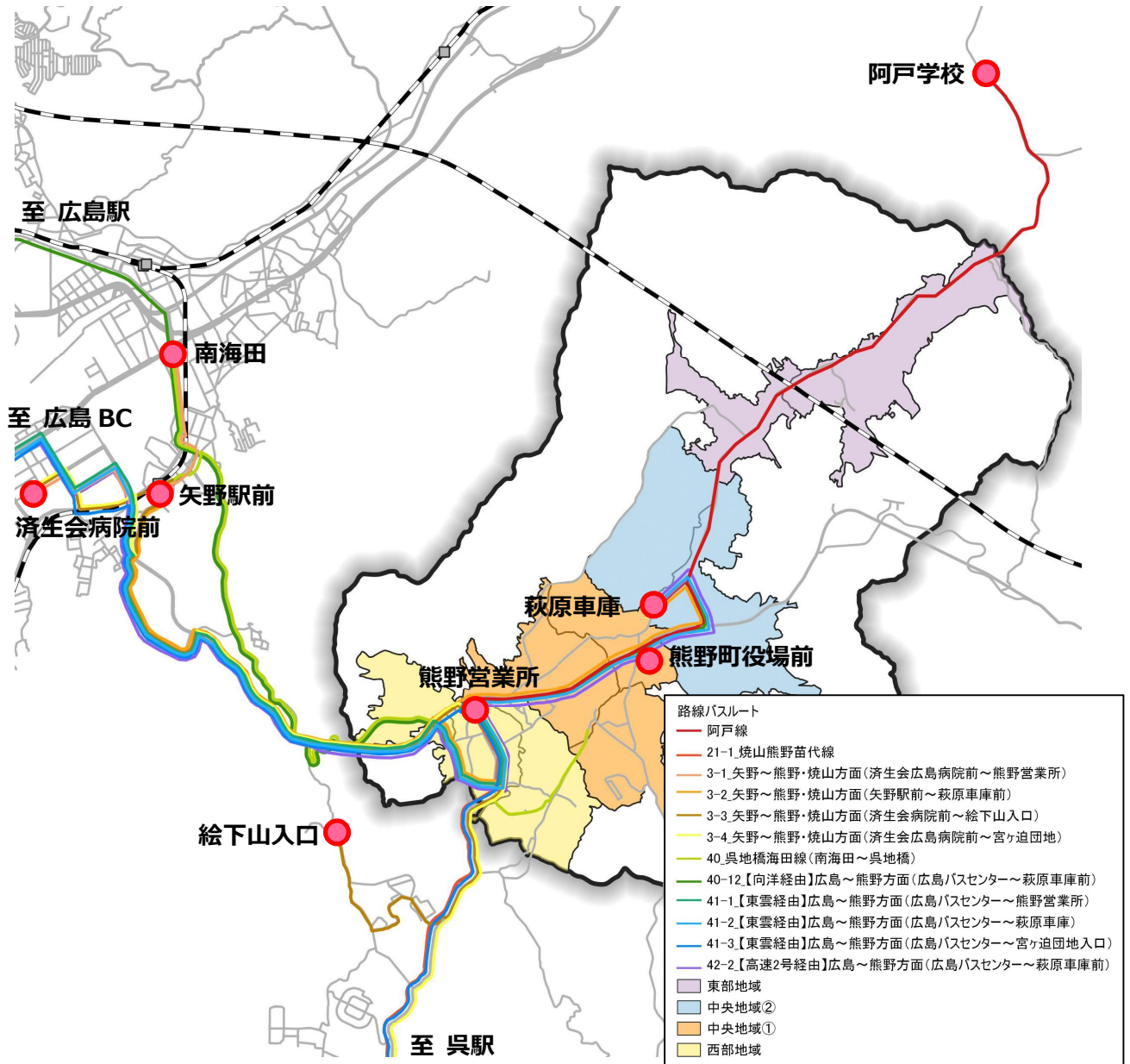


# 1. 公共交通の現状分析

## 1-1 路線状況

### (1) 路線バスの運行ルート

- ・ 町内の公共交通は、路線バス（12 路線）、おでかけ号（3 地区）が運行されている。



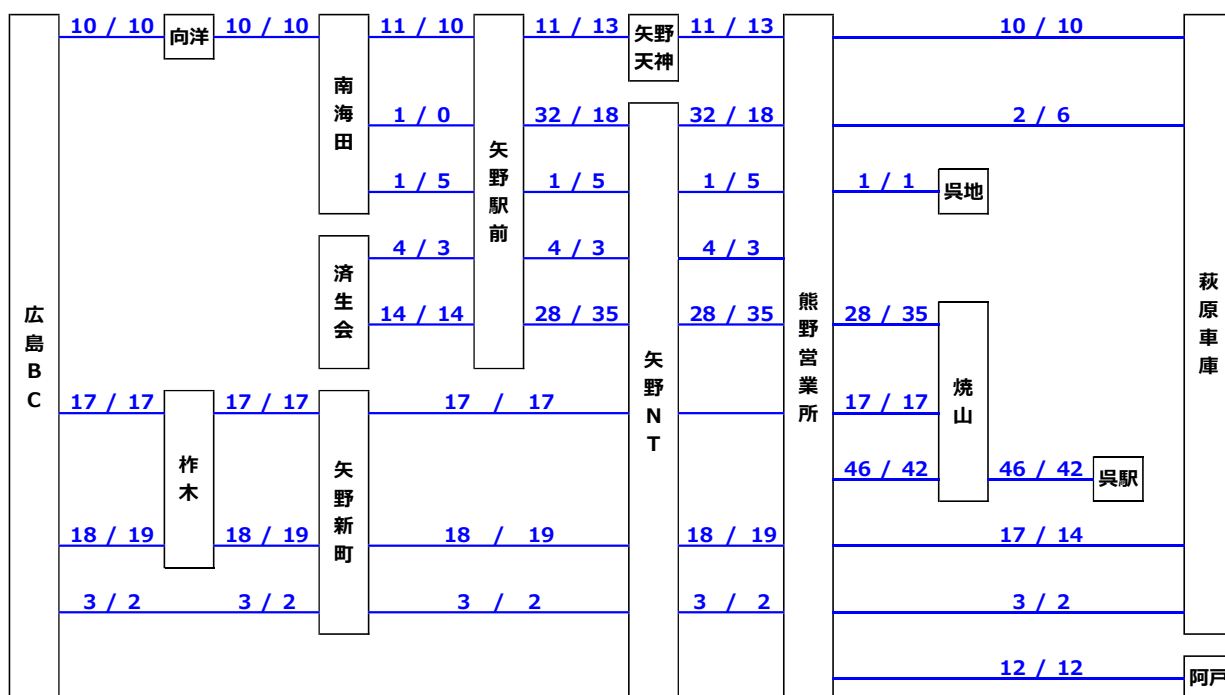
▲熊野町内の路線バス

出典：国土数値情報・広島電鉄（株）HP より作成

(2) 路線バスの運行本数

- 熊野営業所を中心に、広島都心方面、矢野駅方面、呉駅方面に多くの路線バスが運行されている。
- 萩原車庫から広島都心方面へは 56 便、矢野駅へは 28 便が運行**されている。
- 萩原車庫や焼山（絵下山入口、宮ヶ迫団地）を発着する路線が經由するものも含めると、**熊野営業所からは広島都心方面へは 96 便、矢野駅へは 148 便が運行**されている。
- また、**熊野営業所からは、呉駅へ 88 便、済生会病院へ 35 便が運行**されている一方で、**熊野町の中心市街地を經由する萩原車庫から、呉方面、済生会病院への路線は運行されていない。**
- このほか、町内を横断する熊野営業所～阿戸学校が 24 便運行されている。

運行本数（便/日）：広島・矢野・呉方面/熊野方面



▲運行ルート別の運行本数（模式図）

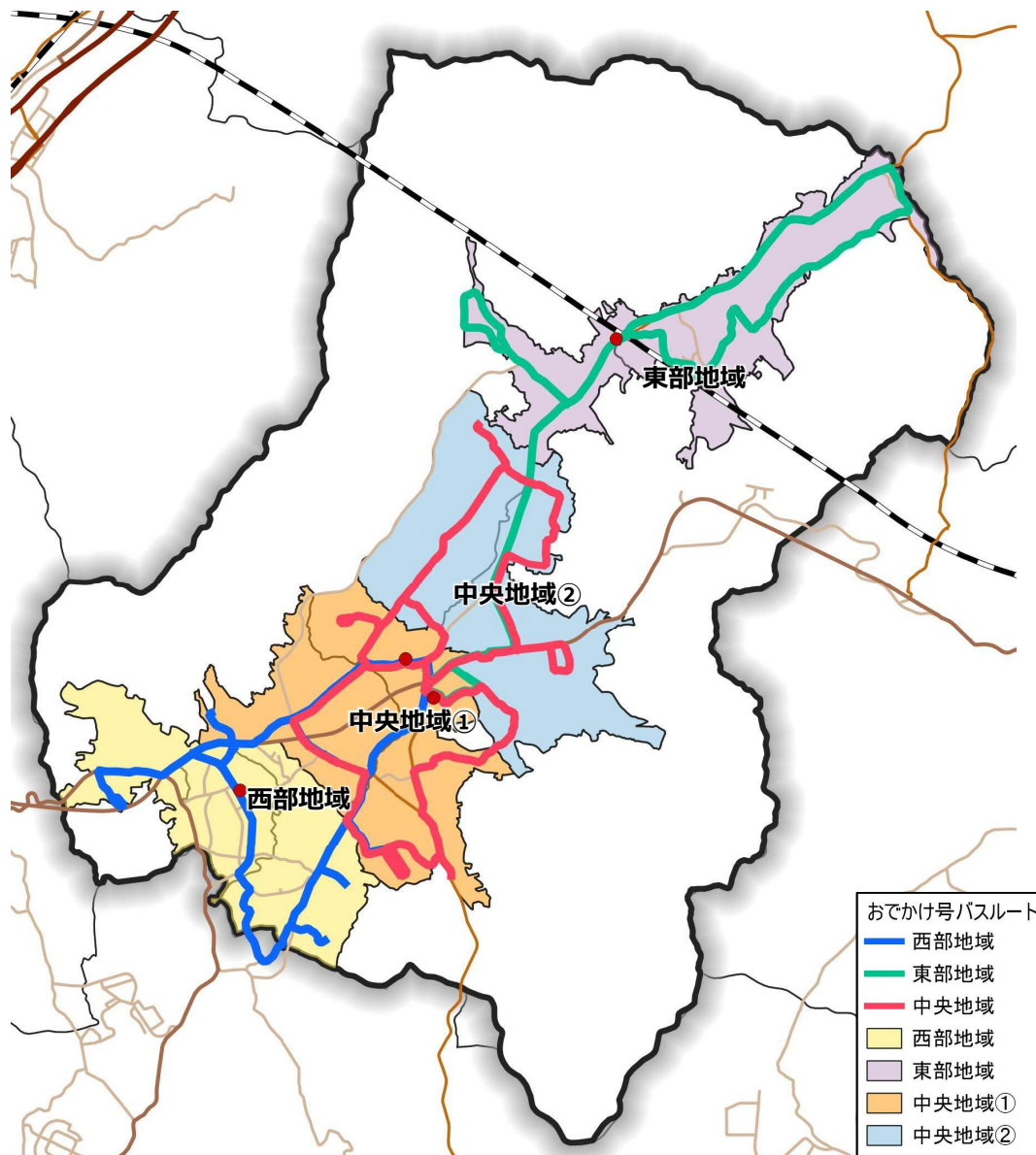
▼運行ルート別の運行本数

起終点	經由地	起終点	運行本数	
			上り 広島・矢野・呉 方面	下り 熊野方面
広島BC ~ (向洋) ~ (南海田) ~ (矢野駅前) ~ (矢野天神) ~ (熊野営業所) ~ 萩原車庫			10	10
広島BC ~ (柞木) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 萩原車庫			17	14
広島BC ~ (高速2号) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 萩原車庫			3	2
南海田 ~ (矢野駅前) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 萩原車庫			1	0
矢野駅前 ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 萩原車庫			1	6
広島BC ~ (柞木) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 熊野営業所			1	5
南海田 ~ (矢野駅前) ~ (矢野天神) ~ (熊野営業所) ~ 熊野営業所			1	0
南海田 ~ (矢野駅前) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 熊野営業所			0	4
済生会 ~ (矢野駅前) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 熊野営業所			4	3
矢野駅前 ~ (矢野天神) ~ (熊野営業所) ~ 熊野営業所			0	3
矢野駅前 ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 熊野営業所			30	12
南海田 ~ (矢野駅前) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 呉地橋			1	1
広島BC ~ (柞木) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 宮ヶ迫団地			17	17
済生会 ~ (矢野駅前) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 宮ヶ迫団地			5	5
済生会 ~ (矢野駅前) ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 絵下山入口			9	9
矢野駅前 ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 宮ヶ迫団地			8	7
矢野駅前 ~ (矢野NT) ~ (熊野営業所) ~ 絵下山入口			6	14
熊野営業所 ~ (宮ヶ迫団地) ~ 呉駅前			46	42
熊野営業所 ~ (熊野萩原) ~ 阿戸学校			12	12

単位：便/日

### (3) おでかけ号の運行ルート

- 平成 25 年 4 月から役場を中心に町内を東部・中央・西部の 3 地域に区分して、車両（ジャンボタクシー）で地域内を循環する生活福祉交通を運賃無料で運行している。



▲筆の都・熊野町 おでかけ号ルート

出典：熊野町「筆の都・熊野町 おでかけ号」ルート図より作成

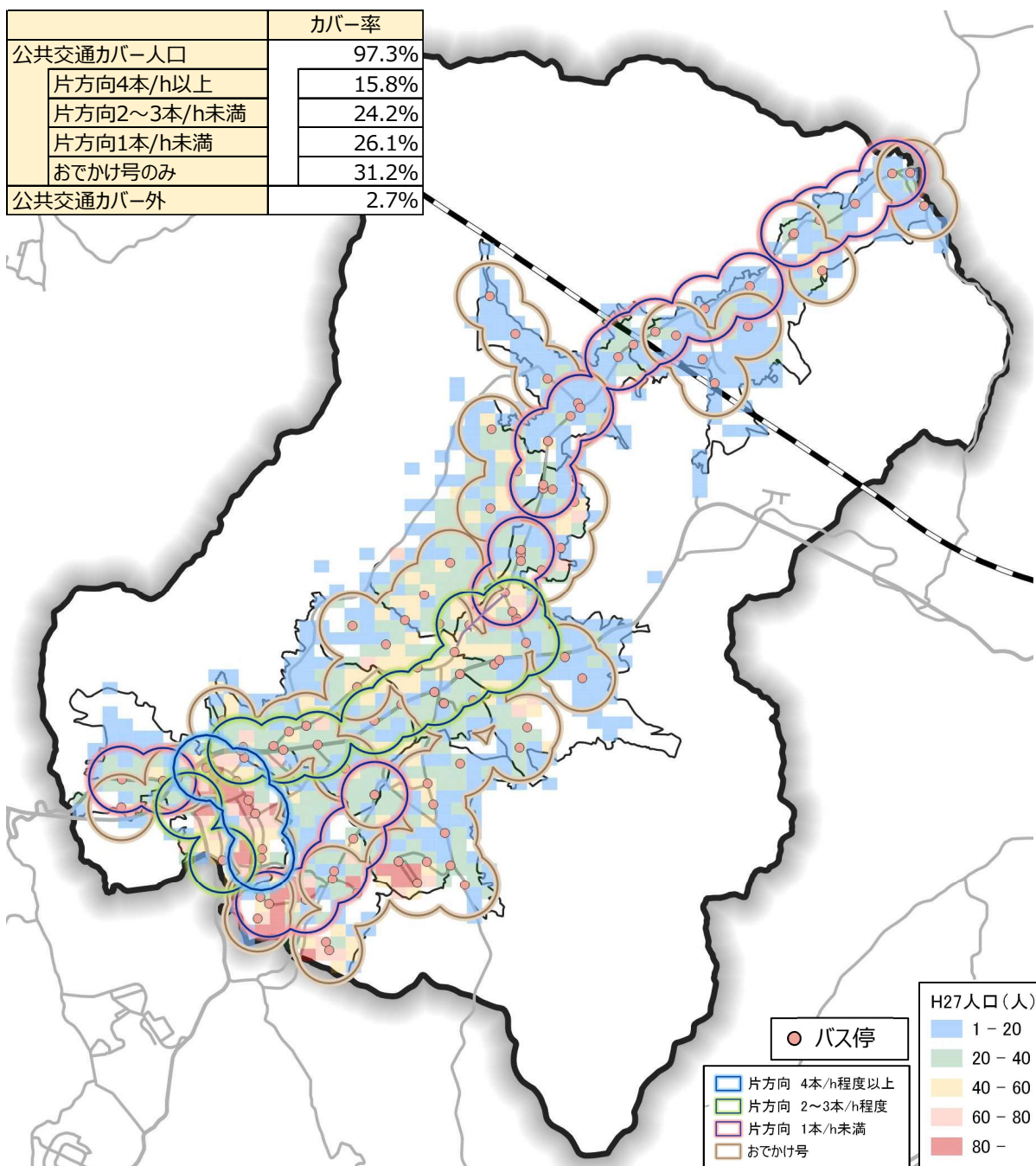
### (4) おでかけ号の運行本数

- 曜日ごとに運行する地域を変えて、1 日 6 便を運航している。

	月	火	水	木	金	土	日
東部	3 便	－	6 便	－	－	－	－
中央	－	5 便	－	－	5 便	－	－
西部	3 便	－	－	6 便	－	－	－
合計	6 便	5 便	6 便	6 便	5 便	－	－

## 1-2 公共交通利用圏域（カバー人口）

- ・ 路線バス、筆の都・熊野町おでかけ号（ジャンボタクシー）により、市内の居住者の約9割がカバーされている。
- ・ 公共交通カバー率をサービスレベル（運行本数）別に見ると、1時間に片方向2本以上の人口は全体の約4割に留まり、残りの約6割は片方向1本/h程度やおでかけ号でカバーしている。



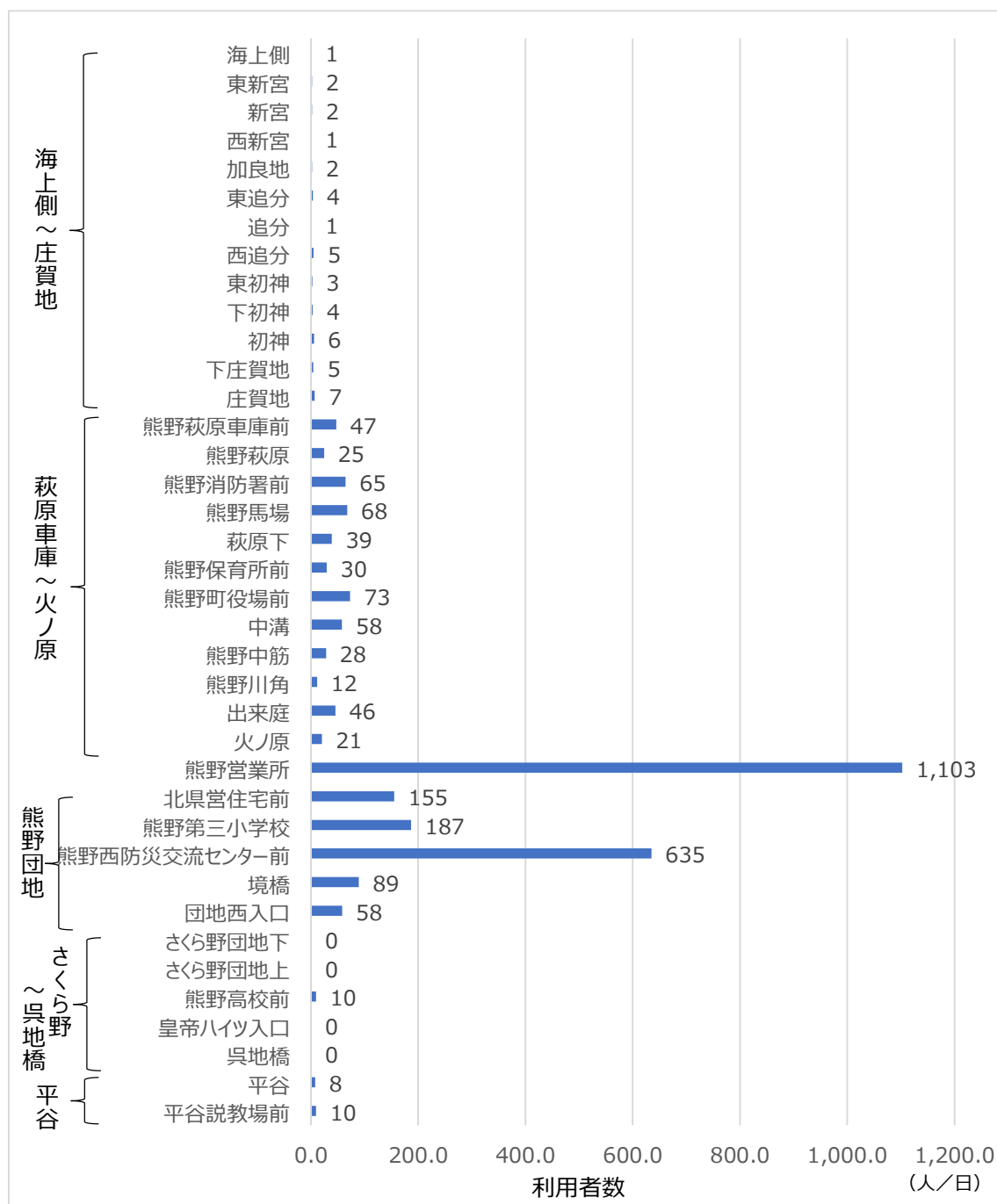
▲カバー圏域人口（250m圏）

出典：バス停：国土数値情報、「筆の都・熊野町 おでかけ号」ルート図より作成  
 100mメッシュ値：国勢調査（H27）より作成  
 注釈：バス停カバー圏：250m

### 1-3 路線バスの利用状況

#### (1) バス停別利用者数（乗降者数）

- ・ 交通拠点となっている熊野営業所での利用が最も多いほか、広島・呉方面への運行本数が多い熊野団地内のバス停の利用も多い。
- ・ 熊野町の中心部である火ノ原～萩原車庫の区間でも利用が見られる一方で、庄賀地以北やさくらの団地～呉地橋では利用が少ない。



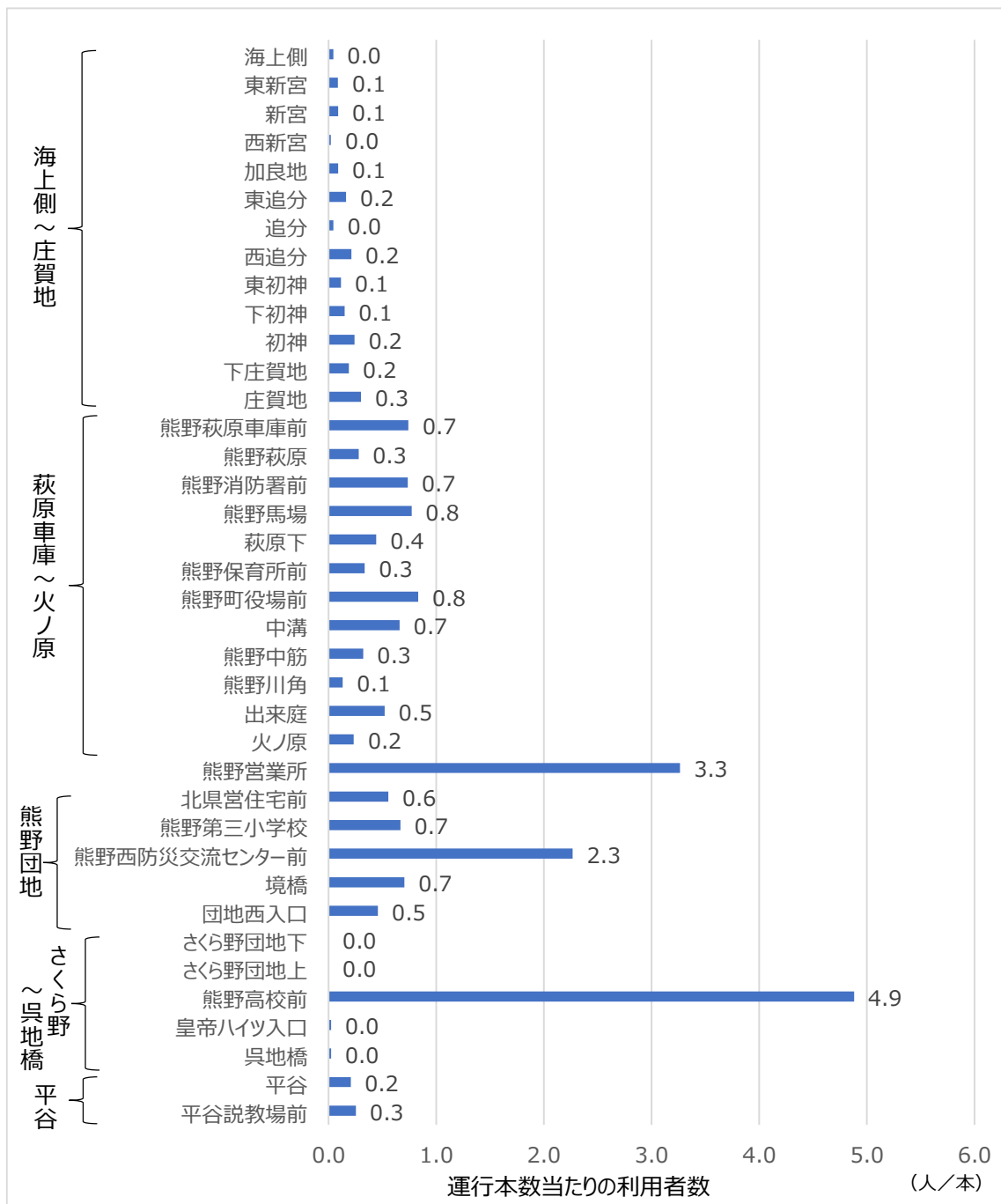
▲バス停別利用者数（乗降者数）

出典：PASPY データ（2021.10 平日平均（1日当り））

(2) バス停別利用率

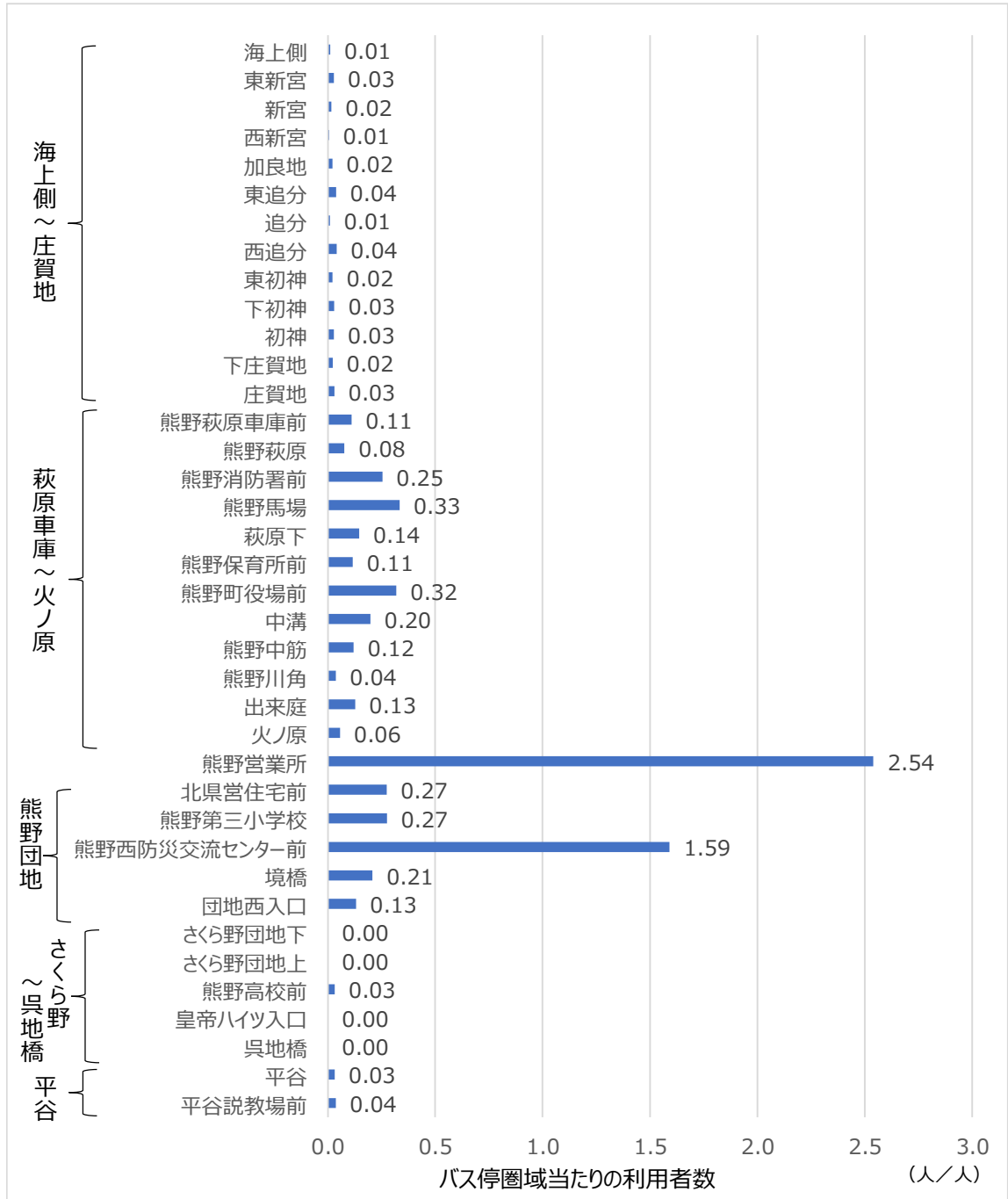
1) 運行本数当たりの利用者数、人口当たりの利用者数

- ・ 運行本数当たり利用者数、人口当りの利用者数ともに、乗換拠点である熊野営業所や高校生の利用が多い西防災交流センター前の利用率が高い。
- ・ 熊野町の中心部である火ノ原～萩原車庫は、熊野団地内のバス停（上記を除く）と比べて運行本数が1/3程度であるが、同程度の利用率にある。
- ・ 熊野高校前は、運行本数が少なく特定の目的（通学）で利用されているため運行本数当たりの利用が多い一方で、人口当たりの利用が少なく住民利用が少ないことが伺える。



▲運行本数当たりの利用率（乗降者数÷運行本数）

出典：PASPY データ（2021.10 平日平均（1日当り））



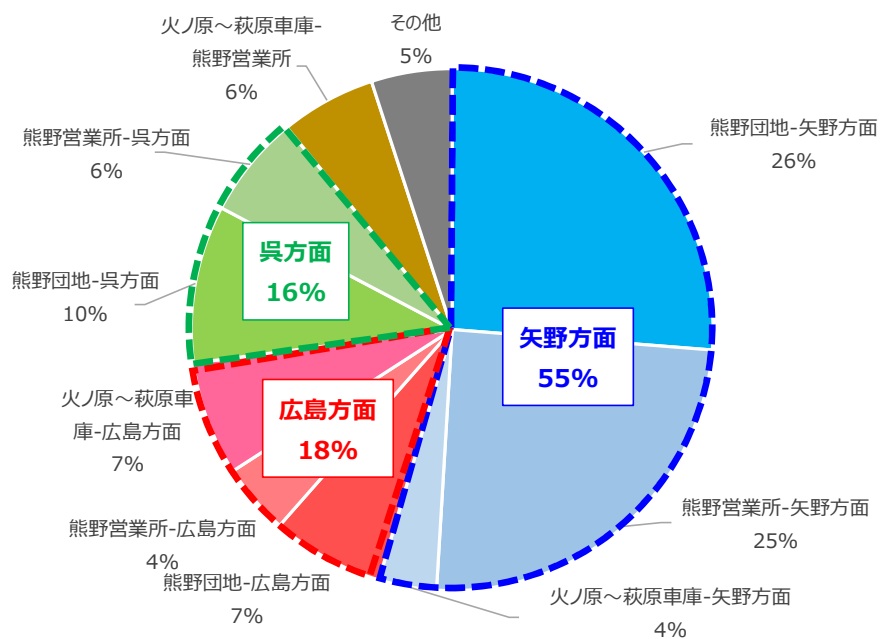
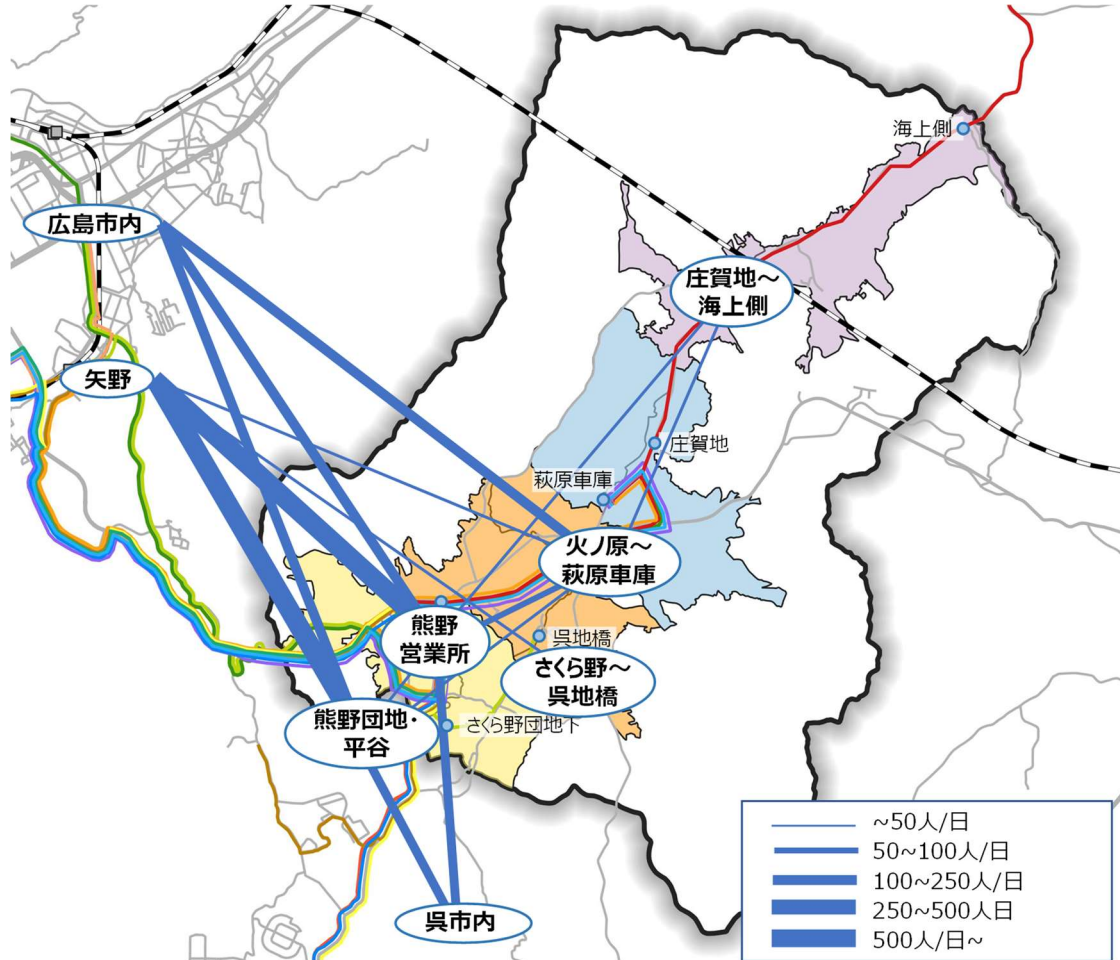
▲バス停圏域人口当たりの利用率（乗降者数÷バス停圏域人口）

出典：PASPY データ（2021.10 平日平均（1日当たり））

※バス停圏域は 200m で算出し、隣接バス停と重複する範囲は按分

(3) バス利用OD（区間間バス利用者数）

- ・ 矢野方面への利用が半数以上を占め、特に熊野営業所や熊野団地からの利用が多い。
- ・ 呉方面、広島方面は同程度の利用があり、広島方面については、火ノ原～萩原車庫から広島方面へ乗り換えなしで行けるため、営業所から広島方面への利用よりも多い。



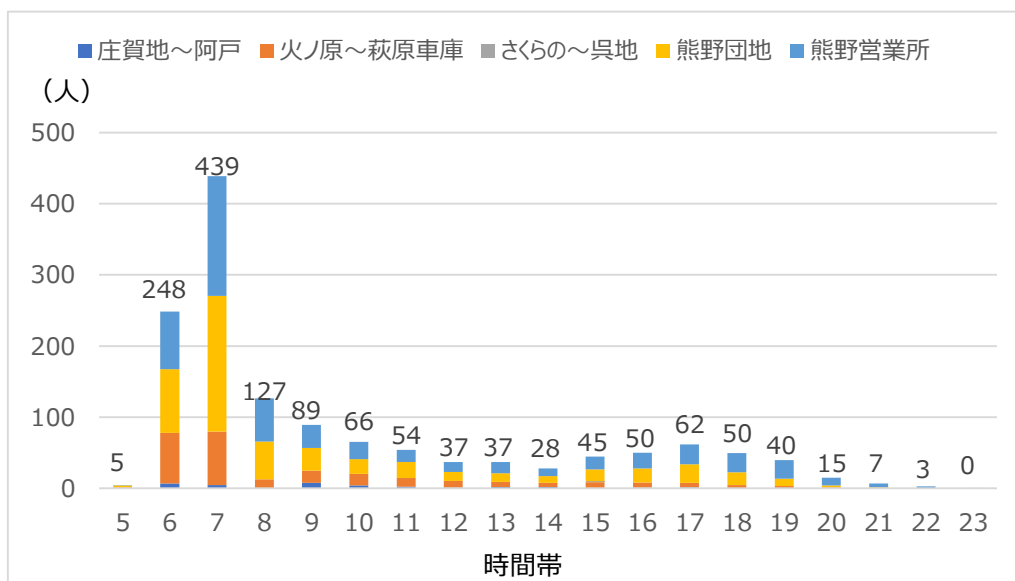
▲バス利用OD 出典：PASPY データ（2021.10 平日平均（1日当り））



#### (4) 時間帯別バス利用状況

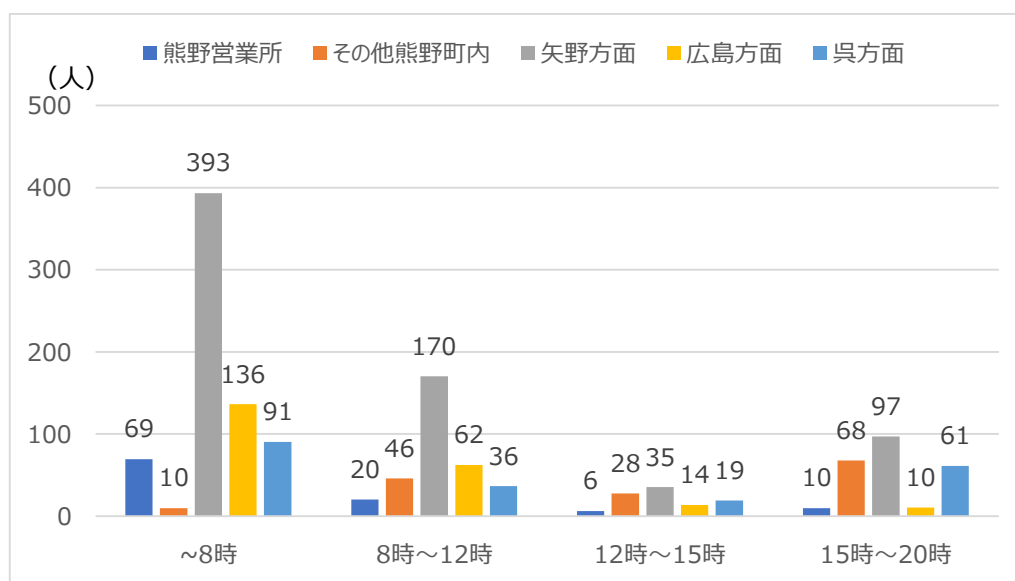
##### 1) 乗車時間帯別の状況（熊野町内での乗車時間帯）

- ・ 熊野町内で乗車するバス利用者のうち、半数が朝ピーク時（6時台～7時台）に乗車している。
- ・ 朝ピーク時の降車地を見ると、矢野方面が多くを占めており、次いで広島方面、呉方面への利用が多い。
- ・ 午前中（8時～12時）も同様の傾向であるが、朝ピーク時に比べて熊野町内での降車が増加し、買物や通院等での利用が伺える。



▲熊野町内で乗車する時間帯

出典：PASPY データ（2021.10 平日平均（1日当たり））

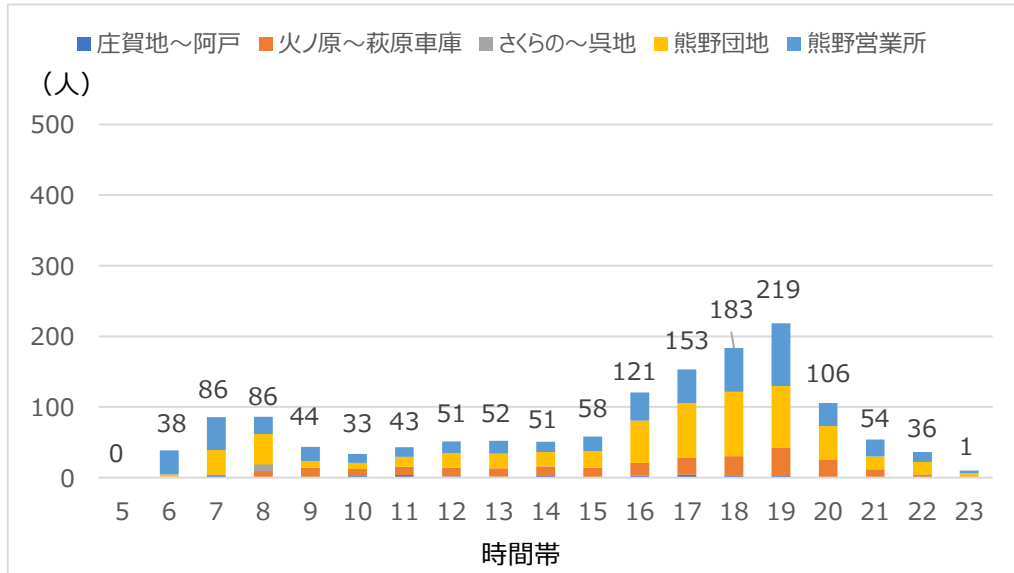


▲熊野町内で乗車する時間帯別の降車地

出典：PASPY データ（2021.10 平日平均（1日当たり））

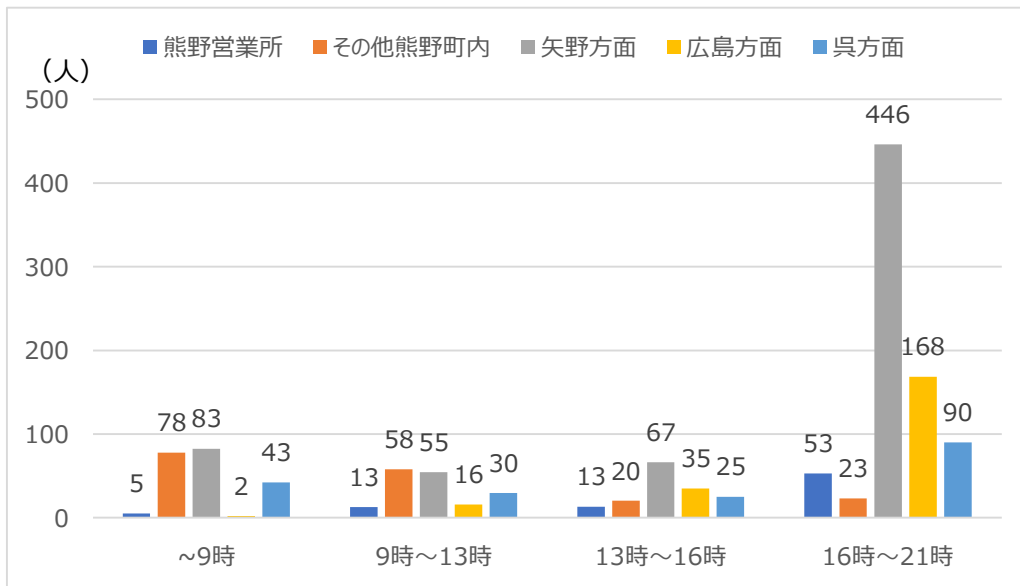
## 2) 降車時間帯別の状況（熊野町内での降車時間帯）

- ・ 熊野町内での降車時間帯は夕方（16時台～20時台）に多い傾向にある。
- ・ その時間帯の降車地を見ると、矢野方面が多くを占めており、次いで広島方面、呉方面への利用が多い。



▲熊野町内で降車する時間帯

出典：PASPY データ（2021.10 平日の1日平均）



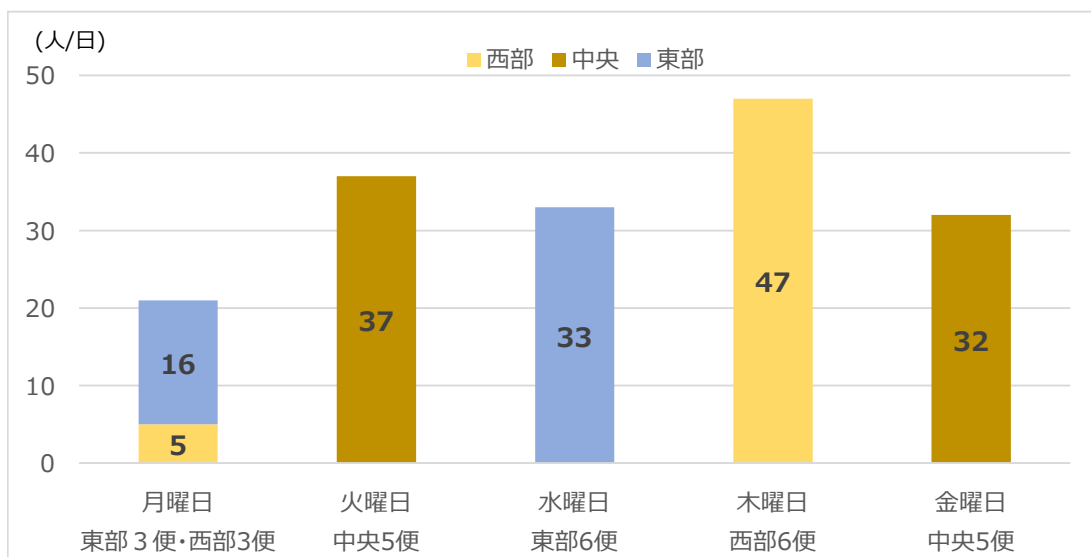
▲熊野町内で降車する時間帯別の乗車地

出典：PASPY データ（2021.10 平日の1日の1日平均）

## 1-4 筆の都・熊野町おでかけ号の利用状況

### (1) 1日当たりの利用者数

- 1日当たりの利用者数は21人～47人で、午前・午後で運行地域が分かっている月曜日が最も利用が少ない。

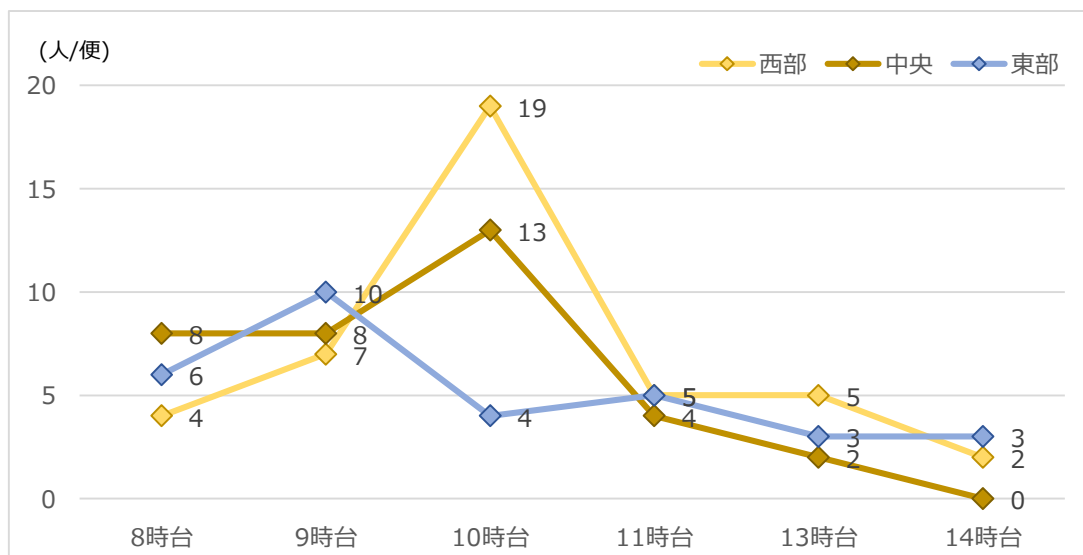


▲1日当たりの利用者数

出典：乗り込み調査（2022.7.4～7.8）

### (2) 1便当たりの利用者数

- 1便当たりは平均で6.0人の利用者がある。
- いずれの地域も午前の利用が多く、午後の利用が少ない。
- 西部地域、中央地域では10時台の利用が多い一方で、東部地域は9時台の利用が多い。



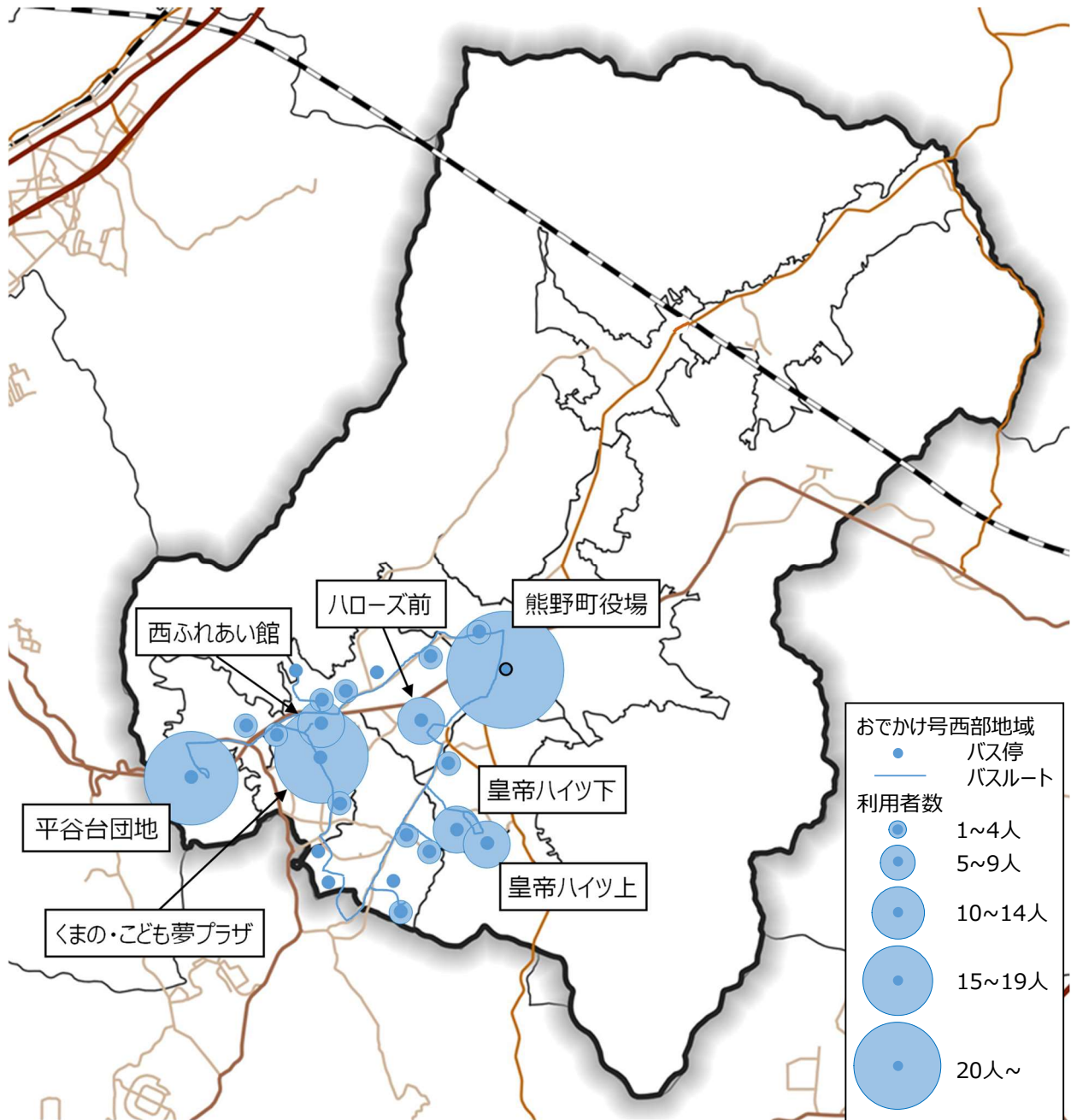
▲1日当たりの利用者数

出典：乗り込み調査（2022.7.4～7.8）

### (3) 停留場別の利用者数

#### 〈西部地域〉

- 西部地域では、主な居住地で人口密度が高い熊野団地や路線バスの利用が不便な平谷台団地の利用が多く、役場やハローズ前が主な目的地として利用されている。

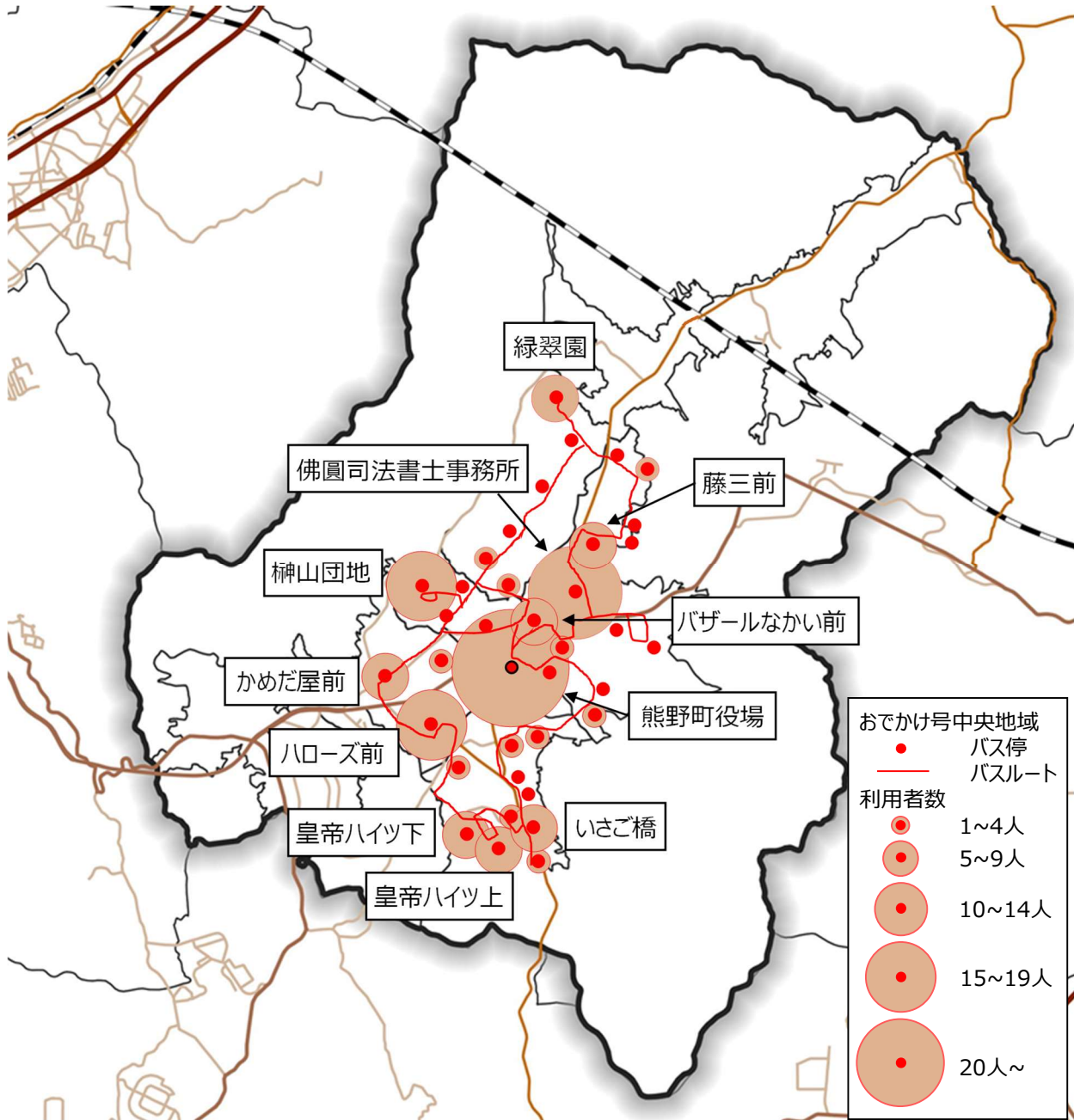


▲停留場別利用者数（西部地域）

出典：乗り込み調査（2022.7.4~7.8）

〈中央地域〉

- ・ 中央地域では、役場の他、ハローズや萩原地区の商業施設周辺といった目的地となる施設での利用が多く、居住地側では皇帝ハイツや榊山団地での利用が見られる。
- ・ 出来庭や中溝、城之堀のうち路線バスの利用が不便なエリアでの利用は一部のバス停に限られている。

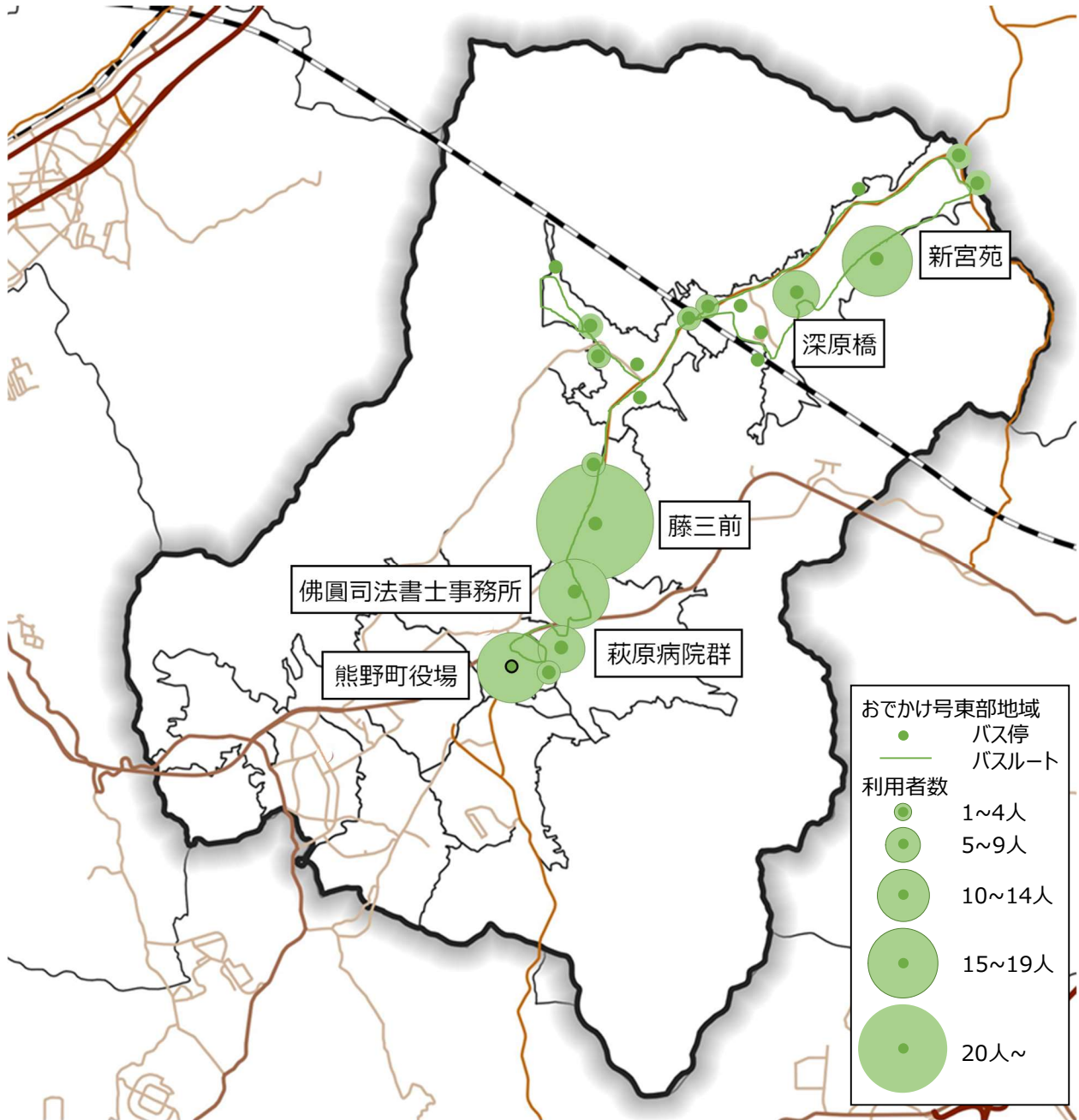


▲停留場別利用者数（中央地域）

出典：乗り込み調査（2022.7.4~7.8）

### 〈東部地域〉

- ・ 東部地域では、役場や萩原地区の商業施設周辺・病院群といった目的地となる施設での利用が多く、居住地側では深原橋や新宮苑での利用が見られる。



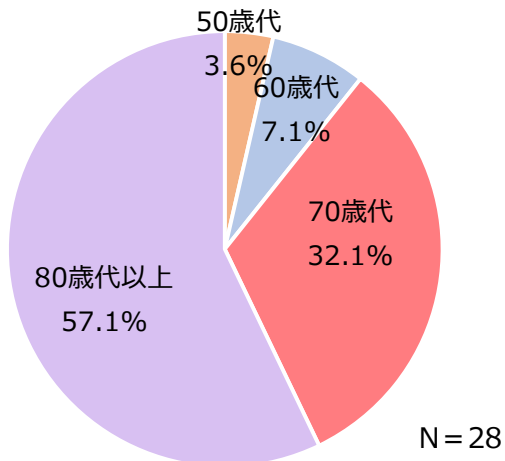
▲停留場別利用者数（東部地域）

出典：乗り込み調査（2022.7.4~7.8）

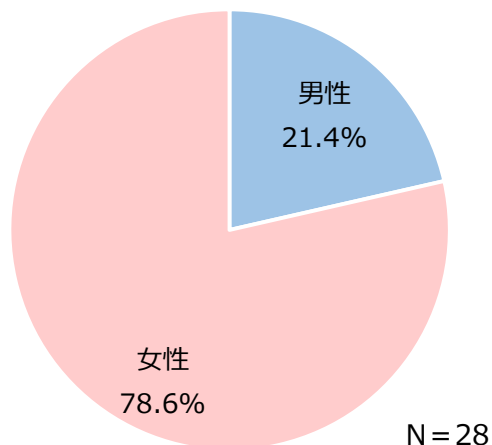
(4) 利用者の属性（おでかけ号利用者へのアンケート調査より）

- ・ 利用者の大半が 70 歳代以上の高齢の女性である。
- ・ 利用者の居住地は、路線バスの利用が不便な平谷や呉地、おでかけ号で公共交通をカバーしている範囲が広い中溝や城之堀の利用が多い。

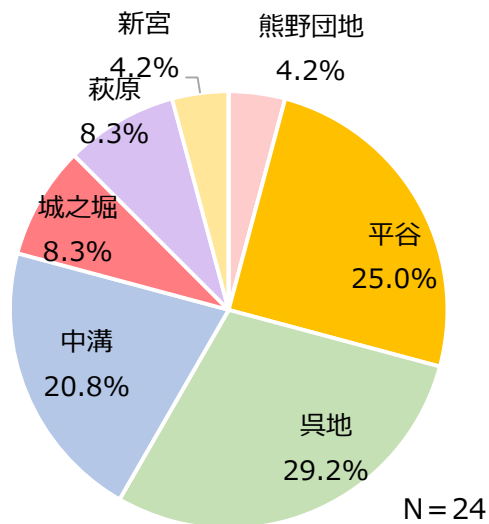
■ 利用者の年齢構成



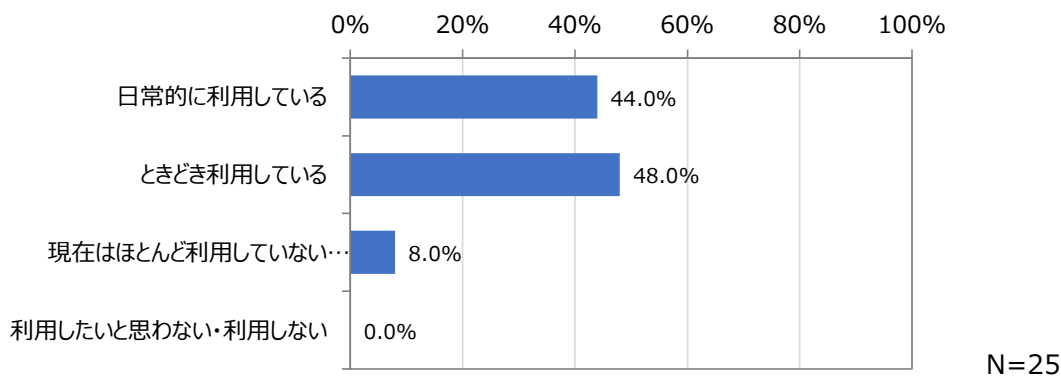
■ 利用者の性別



■ 利用者の居住地



■ 普段の利用状況



出典：熊野町の公共交通に関するアンケート調査（R4）